

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成23年9月22日(2011.9.22)

【公開番号】特開2010-43172(P2010-43172A)

【公開日】平成22年2月25日(2010.2.25)

【年通号数】公開・登録公報2010-008

【出願番号】特願2008-207533(P2008-207533)

【国際特許分類】

C 08 L 69/00 (2006.01)

C 08 K 3/00 (2006.01)

C 08 K 5/09 (2006.01)

C 08 L 67/00 (2006.01)

【F I】

C 08 L 69/00

C 08 K 3/00

C 08 K 5/09

C 08 L 67/00

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月5日(2011.8.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(A) 芳香族ポリカーボネート樹脂、(B) 芳香族ポリエステル樹脂、(C) 塩基性無機充填材および(D) 有機酸を配合してなる樹脂組成物であって、

(A) 芳香族ポリカーボネート樹脂と(B) 芳香族ポリエステル樹脂の合計を100重量%として、(A) 芳香族ポリカーボネート樹脂1~99重量%、(B) 芳香族ポリエステル樹脂1~99重量%であり、(A) 芳香族ポリカーボネート樹脂と(B) 芳香族ポリエステル樹脂の合計を100重量部として、(C) 塩基性無機充填材が20~150重量部、(D) 有機酸が0.001~5重量部からなることを特徴とする熱可塑性樹脂組成物。

【請求項2】

(A) 芳香族ポリカーボネート樹脂と(B) 芳香族ポリエステル樹脂とが構造周期0.001~1.0μmの両相連続構造、または粒子間距離0.001~1μmの分散構造を有することを特徴とする請求項1に記載の熱可塑性樹脂組成物。

【請求項3】

(D) 有機酸が無水マレイン酸、カブリル酸、カプリン酸、ラウリン酸、パルミチン酸、ステアリン酸、アラキジン酸、および酸変性のシロキサンから選択される少なくとも1種であることを特徴とする請求項1または2に記載の熱可塑性樹脂組成物。

【請求項4】

(C) 塩基性無機充填材がタルク、マイカ、合成スメクタイト、ワラストナイトおよびチタン酸カリウムウィスカから選ばれる少なくとも1種であることを特徴とする請求項1~3のいずれか1項に記載の熱可塑性樹脂組成物。

【請求項5】

更に(E) ゴム質重合体を(A) 芳香族ポリカーボネート樹脂と(B) 芳香族ポリエステル樹脂の合計を100重量部として、1~50重量部配合してなることを特徴とする請求

項1～請求項4のいずれか1項に記載の熱可塑性樹脂組成物。

【請求項6】

請求項1～5のいずれか1項に記載された熱可塑性樹脂組成物からなる成形品。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

すなわち、本発明は、

(1) (A) 芳香族ポリカーボネート樹脂、(B) 芳香族ポリエスチル樹脂、(C) 塩基性無機充填材および(D) 有機酸を配合してなる樹脂組成物であって、

(A) 芳香族ポリカーボネート樹脂と(B) 芳香族ポリエスチル樹脂の合計を100重量%として、(A) 芳香族ポリカーボネート樹脂1～99重量%、(B) 芳香族ポリエスチル樹脂1～99重量%であり、(A) 芳香族ポリカーボネート樹脂と(B) 芳香族ポリエスチル樹脂の合計を100重量部として、(C) 塩基性無機充填材が20～200重量部、(D) 有機酸が0.001～5重量部からなることを特徴とする熱可塑性樹脂組成物、

(2) (A) 芳香族ポリカーボネート樹脂と(B) 芳香族ポリエスチル樹脂とが構造周期0.001～1.0μmの両相連続構造、または粒子間距離0.001～1μmの分散構造を有することを特徴とする上記(1)に記載の熱可塑性樹脂組成物、

(3) (D) 有機酸が無水マレイン酸、カプリル酸、カプリン酸、ラウリン酸、パルミチン酸、ステアリン酸、アラキジン酸、および酸変性のシロキサンから選択される少なくとも一種であることを特徴とする上記(1)または(2)に記載の熱可塑性樹脂組成物、

(4) (C) 塩基性無機充填材がタルク、マイカ、合成スメクタイト、ワラストナイト、チタン酸カリウムウィスカから選ばれる少なくとも1種であることを特徴とする上記(1)～(3)のいずれかに記載の熱可塑性樹脂組成物、

(5) 更に(E) ゴム質重合体を(A) 芳香族ポリカーボネート樹脂と(B) 芳香族ポリエスチル樹脂の合計を100重量部として、1～50重量部配合してなることを特徴とする上記(1)～(4)のいずれかに記載の熱可塑性樹脂組成物、

(6) 上記(1)～(5)のいずれかに記載された熱可塑性樹脂組成物からなる成形品、を提供するものである。